

MITSUBISHI

販売店・工事店さま用

ダクト用換気扇 居間・事務所・店舗用

取付工事説明書

形名

低騒音 着せ替えインテリアタイプ(-Wタイプ)

雑ガスセンサー自動運転タイプ VD-18ZA6-W

形名によって取付工事が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

形名確認
グリル表面に貼付
けてあります



別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください

正しく安全に取付けて、お使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお「安全のために必ず守ること」は取付工事前、および使用上大切なことですので必ず事前にご確認ください。

- 取付工事、壁穴工事、電気工事はお買上げの販売店または専門の工事店さまが実施してください。
- この製品は居間・事務所・店舗の天井に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品には市販の埋込みスイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フード等には三菱電機換気送風機カタログより別途ご用意ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の銅板管、アルミフレキシブルダクト、塩化ビニル管のいずれかをご用意ください。

1.安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

<div>⚠ 警告</div>	<div>⚠ 注意</div>
<div>❌ 禁止</div> <p>●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチのな・切をしない</p>	<div>❌ 禁止</div> <p>●直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない</p>
<div>💧 水かけ禁止</div> <p>●製品を水につけたり、水をかけたりしない</p>	<div>❌ 禁止</div> <p>●浴室など湿気が多い場所には取付けない</p>
<div>🔧 分解禁止</div> <p>●改造や工具を必要とする分解はしない</p>	<div>🚫 浴室での使用禁止</div> <p>●浴室など湿気が多い場所には取付けない</p>
<div>⚡ 火災・感電の危険</div> <p>●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。</p>	<div>⚡ 火災・感電の危険</div> <p>●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがの原因。</p>
<div>⚡ 火災・感電の危険</div> <p>●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける 漏電した場合発火の原因。</p>	<div>⚡ 火災・感電の危険</div> <p>●部品の取付けは確実に 落下によりけがの原因。</p> <p>●取付の際は必ず手袋を着用する けがの原因。</p> <p>●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。</p>

取付け

- 高温(40℃以上)になるところに取付けしないでください。
- 傾斜天井には取付けしないでください。シャッター開閉不良の原因となります。
- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。

天井・ダクト工事

- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ(システム部材)または、雨水などの浸入を防ぐための深形フード(システム部材)などを、外風が強いところでは耐外風フードなどを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために吸気口を設けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。(風量低下や異常音発生の原因になります)

●極端な曲げ



●多数の曲げ



●吐出口のすぐそばでの曲げ



●しぼり



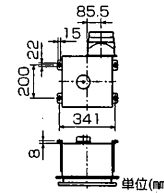
お願い

3.取付方法



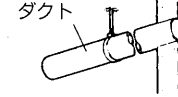
1 取付け前の準備

取付位置・壁排気穴位置を決め、市販の吊りボルト(M8)を埋込む。(右図参照)



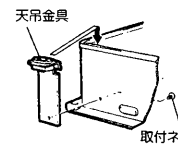
2 ダクト工事

壁排気穴から本体のダクト接続口位置までダクトを配管する。
●ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊るす。



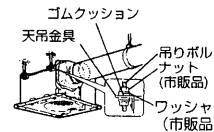
3 本体を吊る (野線を使用する場合は4頁の a を参照)

- 1 天吊金具を取付ける。
システム部材 P-08TK
●天吊金具を本体に目掛けて内側より取付ネジで固定します。



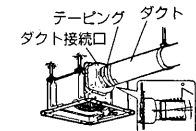
2 本体を吊ります。

- 本体が水平になるよう、天吊金具を吊りボルトに取付け、ナットがゆるまないようワッシャー・ナットにて確実な処置で固定します。



3 ダクト接続口とダクトを接続する。

- 接続部は風漏れのないよう市販のテープを巻く。
- 塩化ビニル管との接続は、ダクト方向の調整が可能。(全方向7°)



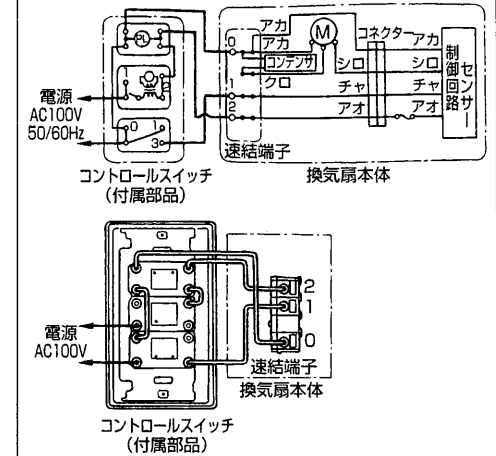
お願い

- 3の接続でダクト接続口にネジ止めする場合は、シャッター動作を妨げない位置へネジ止めをしてください。

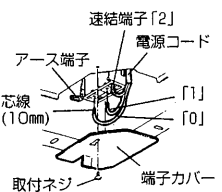
4 電気工事

- 専門の電気工事店が、電気設備技術基準に基づいて行う。

■結線図 本線部分を結線してください。

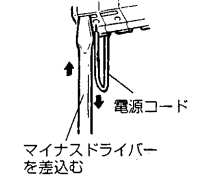


- (1) 本体上部のゴムブッシュより電源コード(屋内配線VVFケーブルφ1.6、φ2)を通す。
- (2) 端子カバーのネジ1本を外して端子カバーを開け、速結端子に皮ムキした芯線を確実に奥まで差込む。(結線図参照)
- (3) 端子カバーを元通り取付ける。



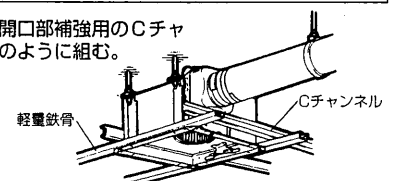
お願い

- より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取付けてから速結端子に確実に差込んでください。
- 電線被ふくは10mmむいてください。本体にあるストリッパゲージに合わせて、皮むきしますと便利です。
- 電源コードは、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたませてください。
- 電源コードを速結端子より外す場合は、マイナスドライバーで速結端子の外しボタン(赤色)を押しながら電源コードを引っばって外してください。
- アース接続の際は単線φ1.6か、より線1.25mm²をご使用ください。(圧着工具は日本圧着端子製 YHT-2210をご使用ください。)



5 軽量鉄骨を組む

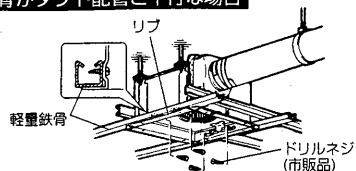
軽量鉄骨と開口部補強用のCチャンネルで図のように組む。



6 本体の固定 (メンテナンスができるよう固定)

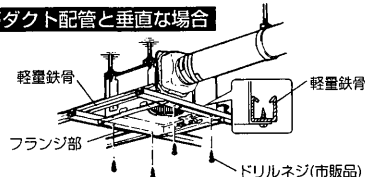
本体内部のリブ(4か所)を利用し、市販のドリルネジ(4本)で軽量鉄骨に固定する。

軽量鉄骨がダクト配管と平行な場合



本体フランジ部の取付穴を利用し、市販のドリルネジ(4本)で軽量鉄骨に固定する。

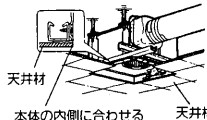
軽量鉄骨がダクト配管と垂直な場合



7 天井材を張る

天井材を張ります。

- 本体の内寸法に合わせて、天井材に角穴を開けます。



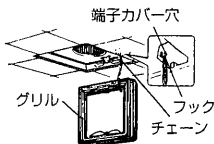
お願い

- 本体固定の際は本体と天井材にすき間のないように固定してください。(すき間があると風漏れの原因になります)

8 グリルの取付け

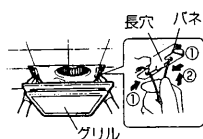
1 チェーンを取付ける。

- グリルの裏側に貼ってある注意ラベルの指示位置に従ってフックを端子カバーの穴に下図のように引掛ける。



2 グリルを取付ける。

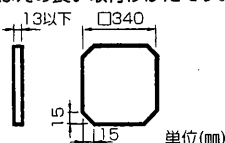
- グリルの2つのパネを両手でつかみ、パネを本体内部の長穴に差し込む。軽くグリルを押して天井材に密着させる。



グリルと天井材を合わせる場合

グリルと天井材が同一で見えのよい取付けかたです。

- (1)天井材を切断する。



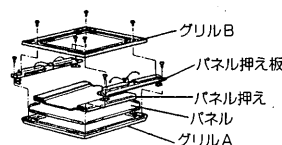
お願い

- 天井材は厚さ13mm以下のものを使用してください。
- 天井材は重いもの・われやすいものは避けてください。

- (2)グリルを分解します。

- ネジ4本を外して、パネル固定板、パネル押え、パネルの順に取外す。

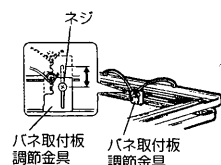
- (3)天井材とパネルを入れ替え、天井材の厚みに応じてパネル押え端部の折返し部を切り取りすき間のないように組立てる。



グリルと天井材の間にすき間がある場合

グリルのパネが本体の長穴に届かないときはパネ取付板調節金具の長穴分をスライドさせて調節できます。

- ネジをゆるめ天井材の厚みに応じてスライドさせネジを締め付け固定する。左右同一に調節する。
- 天井材とグリルの間にすき間がないことを確認する。



お願い

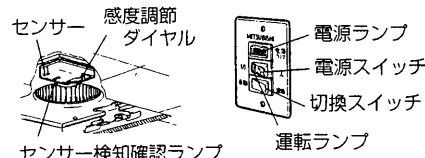
- 左右の調節を同一にしてください。

9 試運転

取付工事が終わりましたら次の確認をしてください。

1. 正常な運転の確認

■付属のコントロールスイッチで運転操作をします。

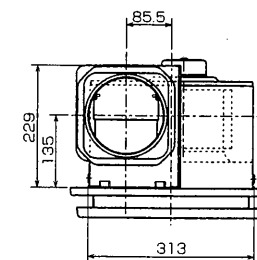
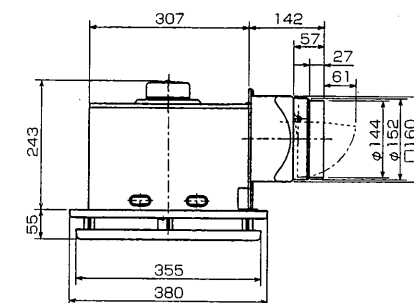


	動作	確認事項
1	感度調節ダイヤルを「0」にして電源スイッチを「入」にし、切換スイッチを「連続」にする。	●電源ランプ点灯。 ●換気扇の運転開始。 ●運転ランプ点灯。
2	切換スイッチを「自動」にする。	センサー検知ランプが点灯し、1～2分後にセンサー検知ランプ消灯。
3	切換スイッチをいったん「連続」にして2～3秒後に「自動」にする。	●換気扇の運転停止。 ●運転ランプ消灯。
4	感度調節ダイヤルを「0」から右へゆっくり回す。	●センサー検知ランプ点灯。 ●換気扇の運転開始。 ●運転ランプ点灯。
5	感度調節ダイヤルを「0」に戻す。	センサー検知ランプ消灯。
6	切換スイッチをいったん「連続」にして2～3秒後に「自動」にする。	●換気扇の運転停止。 ●運転ランプ消灯。

■別冊の取扱説明書の「感度調節のしかた」を参照し、感度調節ダイヤルを調節し、自動運転の動作を確認してください。

2. 振動・異常音の有無

2. 外形寸法図



ダクト径

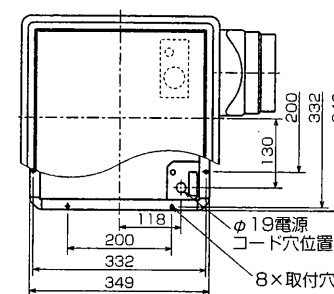
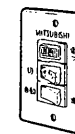
φ150mm

埋込寸法

315mm

付属部品

木ネジ……………10本
コントロールスイッチ…1個



単位(mm)

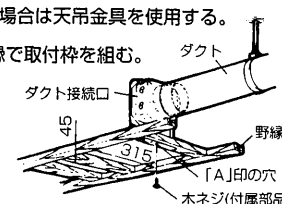
別途取付方法

a 野縁に取付ける場合

野縁の強度が十分でない場合は天吊金具を使用する。

- (1)天井の野縁と補助野縁で取付枠を組む。

- ダクト接続口を取付ける野縁は45mm以下にする。

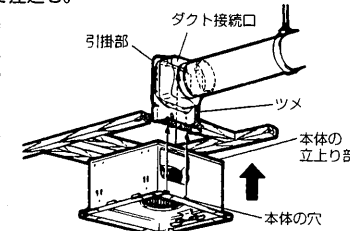


- (2)本体よりダクト接続口を引抜き、野縁に取付ける。

- ダクト接続口を壁排気穴に向けて野縁の角の直角に合わせ、すき間がないように付属の木ネジ(1本)で仮固定する。「A」の印の穴を使用

- (3)本体を野縁にそって差込む。

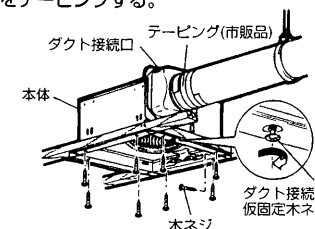
- 本体の穴とダクト接続口の内側のツメ及び、本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまり込むように本体とダクト接続口を接続する。



- (4)本体を固定する。

- 本体がダクト接続口に密着していることを確認し、付属の木ネジ(8本)で本体をすき間のないようにしっかり固定する。(すき間は風漏れの原因)1本は本体側面に締付ける。

- (5)ダクト接続口を仮固定している木ネジ(1本)を締め付け、風漏れのないよう市販のアルミテープ等でダクト接続部をテーピングする。



三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。